Nikon クイックスタートガイド

Jp

Nikon Film Scanner
SUPER COOLSCAN 8000 ED

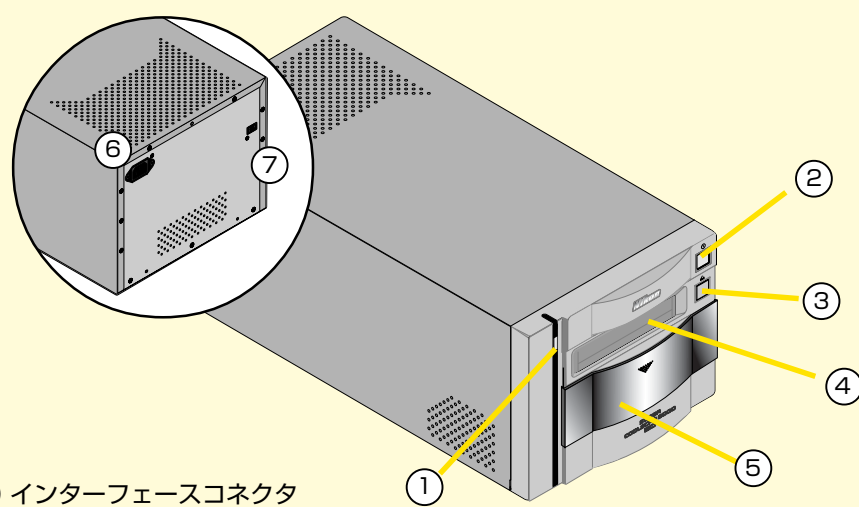
Nikon Scan のインストール
▽
スキャナを接続する
▽
フィルム原稿とホルダを用意する
▽
フィルムをホルダにセットする
▽
ホルダをスキャナにセットする
▽
Nikon Scan を起動して使用する

(ウラ面　Nikon Scan クイックリファレンスガイド)

重要　Windowsをご使用の場合は、スキャナの接続後に、デバイスの登録が必要となります。デバイスの登録は別紙をご覧ください。

メモ　コンピュータにIEEE 1394 (Firewire) ボードまたはポートを装備していない場合は、同梱のIEEE 1394インターフェースボードをコンピュータに装着します。詳しくはボードの使用説明書をご覧ください。

メモ　スキャナについての詳細は『製品ご活用のヒント』のページ(下記アドレス)の「フィルムスキャナ編」もあわせてご覧ください。
http://www.nikon-image.com/jpn/ei_cs/tips/s-nyumon.htm

スキャナの各部名称

① 表示LED
② 電源スイッチ
③ イジェクトボタン
④ ホルダスロット
⑤ ホルダスロットカバー
⑥ 電源コード差込み口
⑦ IEEE 1394 (Firewire) インターフェースコネクタ

Step 1 スキャナドライバソフトウェア Nikon Scan のインストール

スキャナを接続する前に、**スキャナドライバソフトウェア** Nikon Scan 3をコンピュータにインストールします。インストールの方法はWindows と Macintosh で異なります。

Nikon Scan ソフトウェアCD-ROM

Windows に Nikon Scan をインストールする

コンピュータの電源を入れ、Windows を起動します。

スキャナは、まだ接続しないでください。

Windows XP Home Edition/Professionalまたは Windows 2000 Professional をご使用になる場合は、「コンピュータの管理者」または、「Administrator」でログオンしてください。
詳しくは、ご使用になるコンピュータの使用説明書をご覧ください。

1 Nikon Scan 3 CD-ROM をコンピュータのCD-ROM ドライブに挿入します。

しばらくすると、「Welcome」画面が表示されますので、**[Nikon Scan 3] をクリック**します。

2 「Install Shield ウィザード」が起動します。**[次へ] をクリックする**と、「使用許諾書」画面が表示されます。内容を確認して、**[はい] をクリック**します。

3 インストール先を選択します。

Nikon Scan をインストールするフォルダがインストール先のフォルダに表示されます (初期設定では、C:¥Program Files¥Nikon¥NkScan30)。

[次へ] をクリックするとインストールが開始されます。

4 Windows のデスクトップ上に Nikon Scan のアイコンを作成する問い合わせ画面が表示されます。

[はい] をクリックすると、デスクトップ上にNikon Scanを起動させるためのショートカット用アイコンが作成されます。

5 インストールの途中に「カラースペースウィザード」画面が表示されます。

[ウィザード] をクリックしてください。

6 「カラースペースウィザード」のOS選択画面が表示されます。

[Windows] をクリックします。

7 「Windows ウィザード」画面 (色空間を選択するウィザード) が表示されます。

カラースペースのリストから**sRGB を選択し、[OK] をクリックします (推奨)**。詳しくはNikon Scan 3 ソフトウェアマニュアル (CD-ROM) の 115 ページの色空間プロファイルをご参照ください。

8 「Install Shieldウィザード」の完了画面が表示されます。

[完了] をクリックして Install Shield ウィザードを終了します。

右上へつづく

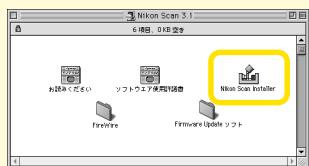
Macintosh に Nikon Scan をインストールする

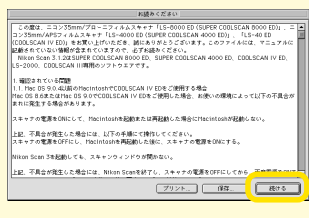
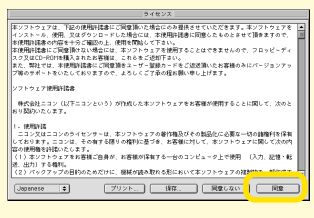
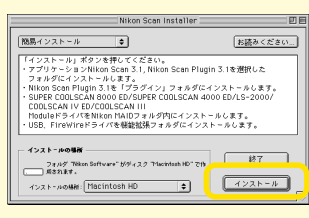
コンピュータの電源を入れ、MacOS を起動します。

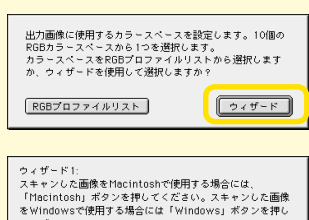
スキャナは、まだ接続しないでください。

1 Nikon Scan 3 CD-ROM をコンピュータのCD-ROM ドライブに挿入します。

「Nikon Scan 3.1」画面内の **[Nikon Scan Installer] アイコンをダブルクリック**します。

2 インストーラが起動します。**[続ける] をクリック**します。

3 ソフトウェア使用権許諾契約書 (ライセンス) が表示されます。

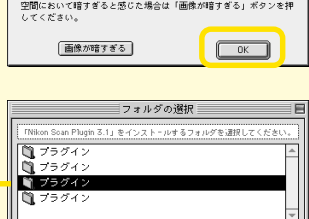
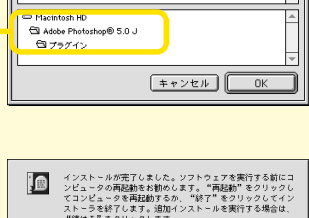
[同意] をクリックすると「お読みください」画面が表示されます。内容を確認して、**[続ける] をクリック**します。

4 インストールする場所を選択し、**[インストール] をクリック**するとインストールが始まります。

5 インストールの途中に、「カラースペース設定」画面が表示されます。

[ウィザード] をクリックしてください。

6 「ウィザード 1」画面が表示されます。

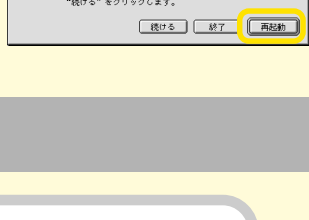
[Macintosh] をクリックします。

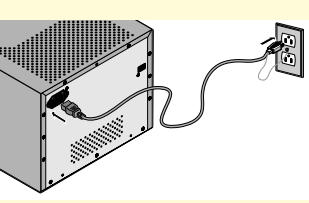
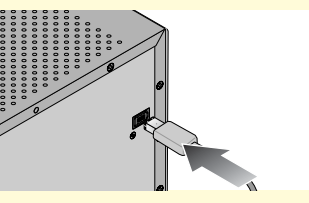
7 「Macintoshウィザード」画面 (色空間を選択するウィザード) が表示されます。

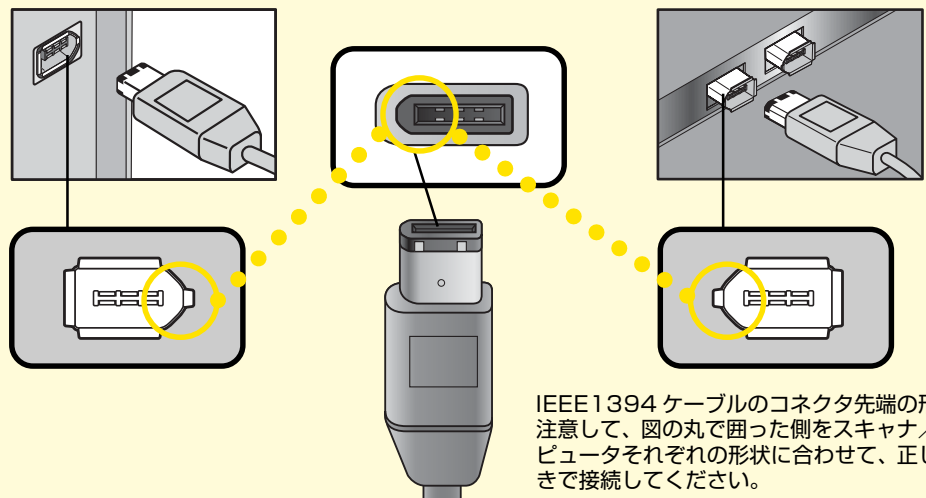
カラースペースのリストから **Apple RGB を選択し、[OK] をクリックします (推奨)**。詳しくは Nikon Scan 3 ソフトウェアマニュアル (CD-ROM) の 115 ページの色空間プロファイルをご参照ください。

8 Nikon Scan Plugin 3.1 のインストール先を選択する画面 (「フォルダの選択」画面) が表示されます。

Adobe Photoshop 形式のプラグインのフォルダを選択して **[OK] をクリック**します。プラグインを設定しない場合は [キャンセル] をクリックします。

プラグインを設定すると、そのアプリケーションからNikon Scan を開くことができます。

9 Nikon Scan のインストールが完了すると、完了を知らせる画面が表示されます。

[再起動] をクリックしてコンピュータを再起動します。

Step 2 スキャナを設置して スキャナを接続する

1 スキャナの電源スイッチがオフになっていることを確認し、付属の電源コードのコネクタをスキャナの電源コード差込み口に差し込み、電源プラグをコンセントに差し込みます。

2 付属のIEEE1394 (Firewire) ケーブルの一方をスキャナの背面の端子 (インターフェースコネクタ) に接続し、もう一方のコネクタをコンピュータに接続します (コネクタの向きに注意して接続してください)。

コンピュータ側の端子が SONY VAIO NOTE など、DV 端子 (4ピン) の場合は、別途市販の6ピン-4ピンタイプのIEEE 1394 ケーブルや、6ピン-4ピン変換器が必要になります。

コンピュータに IEEE 1394 (Firewire) ボードまたはポートを装備していない場合は、同梱の IEEE 1394 インターフェースボードをコンピュータに装着します。詳しくはボードの使用説明書をご覧ください。

IEEE1394 ケーブルのコネクタ先端の形状に注意して、図の丸で囲った側をスキャナ／コンピュータそれぞれの形状に合わせて、正しい向きで接続してください。

重要　Step 3 に進む前に、Windows をご使用の場合はデバイスの登録が必要です。別紙のデバイスの登録をご覧ください。

右上へつづく

Step 3 スキャンをする フィルム原稿とホルダを用意する

フィルム原稿を用意します。使用するフィルム原稿により、ホルダのタイプが異なります。

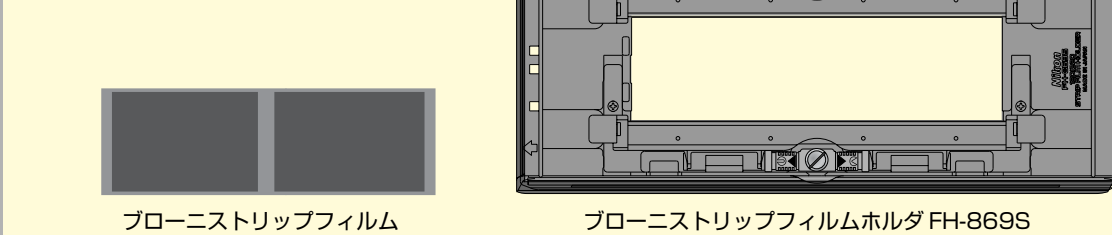
ここでは、6×7 サイズのブローニストリップフィルム (ネガ) を、付属のブローニストリップフィルムホルダ FH-869S を使ってスキャンする場合について説明します。

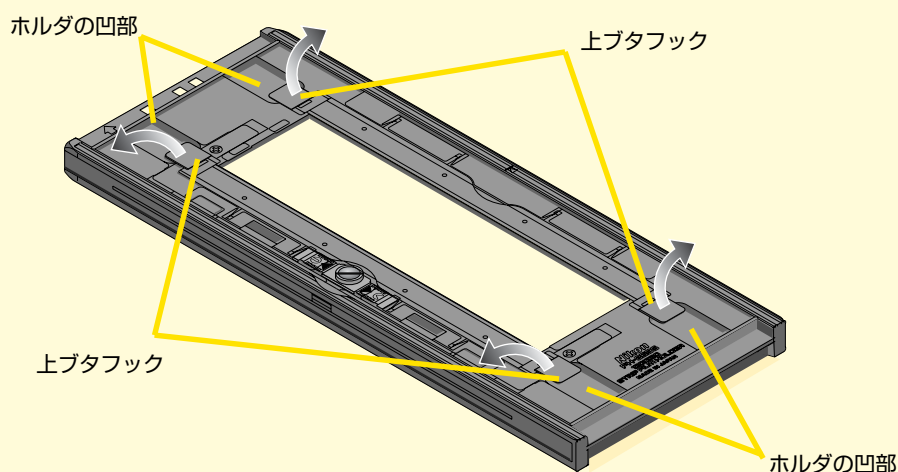
35mm ストリップフィルムなど、他の各種ホルダを使ってスキャンする場合については使用説明書をご覧ください。

FH-869S は、120/220 ブローニストリップフィルムまたは 59mm × 82mm サイズの電子顕微鏡フィルムをセットできます。

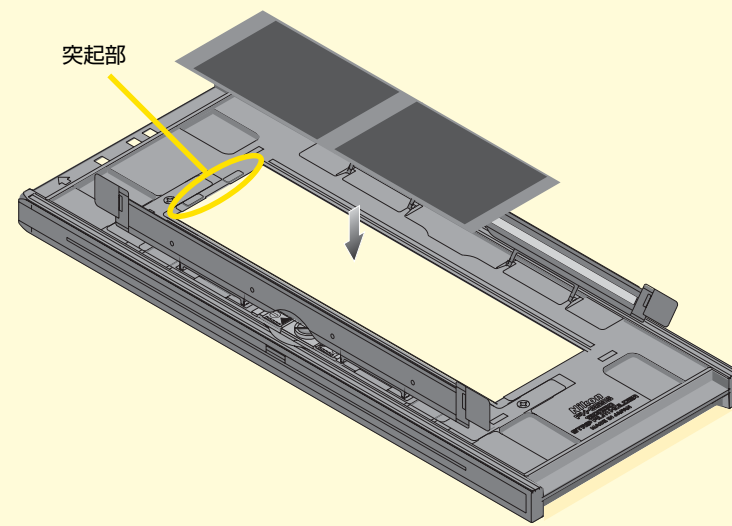
セットできるコマ数は次の通りです。

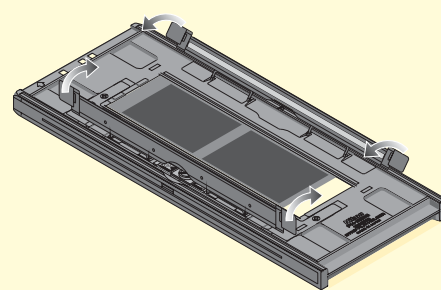
6 × 4.5 サイズ：　4 コマまで
6 × 6 サイズ：　3 コマまで
6 × 7 ～ 9 サイズ：　2 コマまで

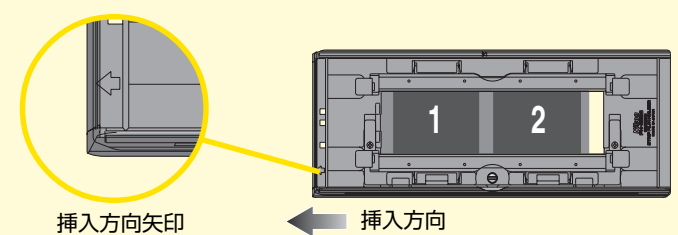
ブローニストリップフィルム　　ブローニストリップフィルムホルダ FH-869S

Step 4 スキャンするブローニフィルムを ホルダにセットする -1

ホルダの凹部に指を入れてフックを外し、2 つの上ブタを開きます。

Step 5 スキャンするブローニフィルムを ホルダにセットする -2

ブローニフィルムをホルダにセットします。

フィルムの光沢面が上 (乳剤面が下) になるようにしてフィルムをのせ、フィルムの端をホルダの突起部に突き当てます。

Step 6 スキャンするブローニフィルムを ホルダにセットする -3

上ブタを「カチッ」と音がするまで閉めます。

Nikon Scanのスキャンウィンドウ上でのサムネイルエリアのコマ番号は、図のようになっています。

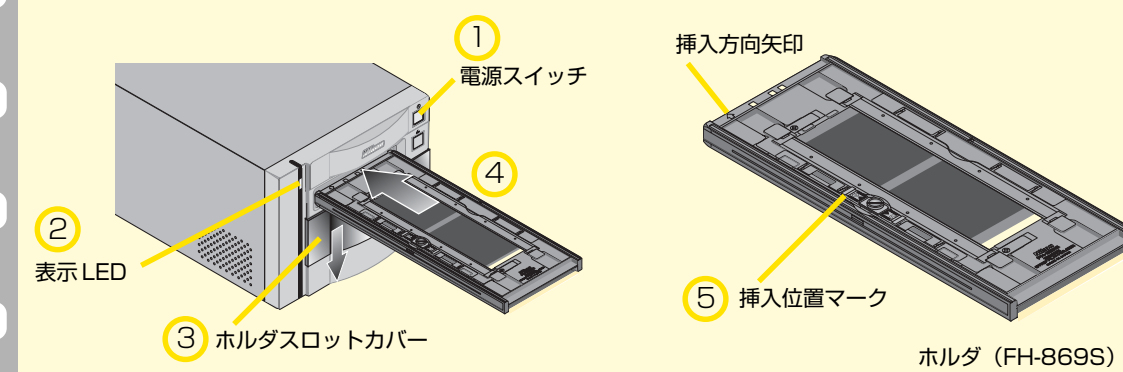
右上へつづく

Step 7 フィルムをセットしたホルダを スキャナにセットする

① スキャナの電源を入れます。

② スキャナの初期動作中は表示LEDが点滅します。初期化動作 (約 1 分) が終了すると、表示 LED は点灯に変わります。

③ スキャナのホルダスロットカバーを、しっかりと下までおろします。

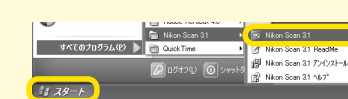
④ スキャナが動作中でないことを確認し、ホルダの挿入方向矢印が上になるようにまっすぐにゆっくり挿入します。

⑤ ホルダの挿入位置マークの近くまで挿入すると自動的にスキャナに引き込まれます。
ホルダから手を放すとホルダは所定の位置で止まります。

Step 8 スキャナドライバソフトウェア Nikon Scan を起動して使用する

1 Nikon Scan を起動させます。

Windows の場合

[スタート] をクリックして [プログラム] メニューの中の [Nikon Scan 3.1] から [Nikon Scan 3.1] を選択します。

デスクトップ上に作成したアイコンをダブルクリックしても Nikon Scan を起動できます。

Macintosh の場合

ソフトをインストールしたときに選択した場所 (Macintosh HD内) にある [Nikon Software] フォルダの中の [Nikon Scan 3] フォルダを開いて、[Nikon Scan 3.1] アイコンをダブルクリックします。

Nikon Scan 3.1

スキャナの電源を入れて、Nikon Scan を起動した状態で、最初のホルダ挿入時、またはスキャナの電源を入れてホルダを挿入した状態で、最初の Nikon Scan を起動したときにのみ速い点滅 (約 3 秒間) を 5 回繰り返しますが、エラーや故障ではありません。このときにホルダをイジェクトしないでください。

イジェクト等の処理を行ってしまった場合は、スキャナの電源を入れ直して、Nikon Scan を再起動してください。

重要　Macintosh をご使用の場合は、同梱の Nikon Scan 3 ご使用時のメモリについての表をよくお読みの上、割当メモリをご確認ください。

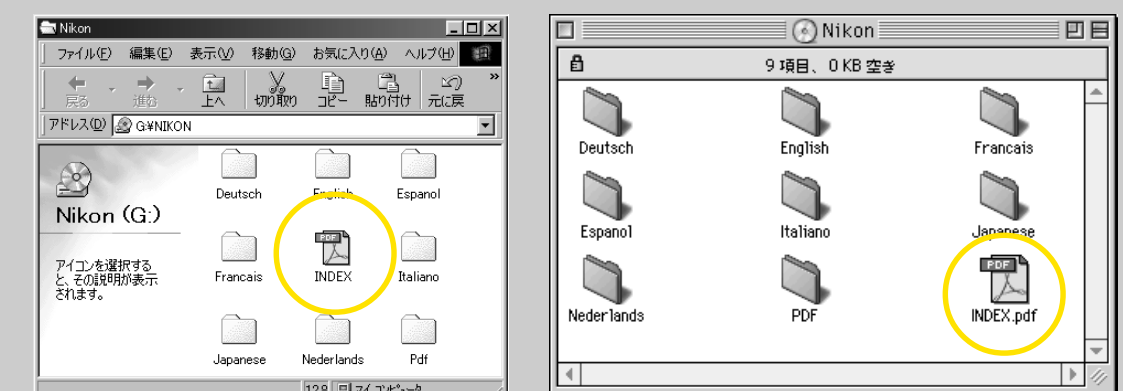
2 Nikon Scanを使用してスキャン (読み取り操作) を行います。ウラ面へ進んでください。

Nikon Scan 3 スキャンウィンドウ

スキャンウィンドウの各部名称と機能についてはウラ面をご覧ください。

ソフトウェアマニュアルについて

Nikon Scan 3のソフトウェアマニュアルは、Nikon Scan 3ソフトウェアマニュアルCD-ROMに収録されています。CD-ROM内の [INDEX] ファイルを開きます。

Adobe Acrobat Readerが起動して、ソフトウェアマニュアルの言語選択画面が表示されますので、[日本語] をクリックします (Adobe Acrobat Reader 4.0 以降が必要です。CD-ROM内の [Japanese] にインストーラがありますので、コンピュータにインストールして使用してください)。

Windows

Macintosh

スキャナドライバソフトウェア
Nikon Scan 3
クイックリファレンスガイド

Nikon Scan3 を使用した読み込み（スキャン）について、簡単に説明しています。詳しくは Nikon Scan 3 ソフトウェアマニュアル CD-ROM をご覧ください。

スキャンウィンドウ各部の名称と機能

詳しくはソフトウェアマニュアル CD-ROM の 19 ページをご覧ください。

スキャンウィンドウ

A コントロールエリア
プレビューやスキャンでよく使われる機能を集めてあります。

B 情報表示エリア
画像スキャンの情報を表示します。

C プレビューボタン
プレビューの読み込みを実行します。プレビュー画像でスキャンする画像の確認ができます。

D スキャンボタン
選択された画像のスキャン（読み取り）を開始します。

E ヘルプテキスト
ポインタ（）が示す箇所の説明を表示します。

F サムネイルタブ
サムネイル一覧から画像を選択するときにクリックします。

G プレビューエリア
プレビュー画像が表示されます。

H 進行表示
進行中の処理を表示するほか、実行前や完了後の処理のリストを開きます。

ツールパレット 1
- レイアウトツール
- 情報
- スキャンサイズ
- トーンカーブ
- カラーバランス
- LCH エディタ
- アンシャープマスク
- Digital ICE cubed
- アナログゲイン
- スキャナ設定

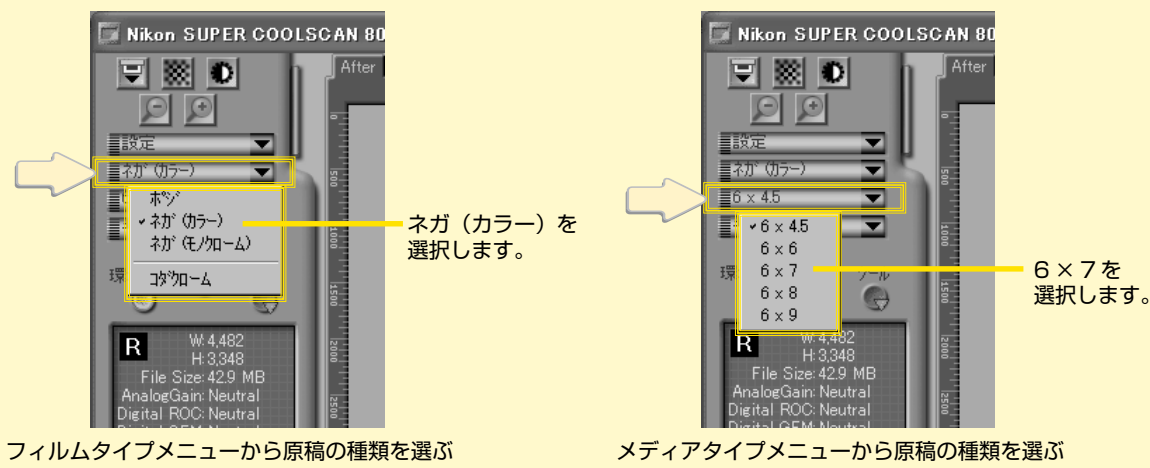
ツールパレット

主に次の操作ができます。

- 画像の向きやスキャン範囲の選択
- 読み込まれる画像の大きさやファイルサイズの指定
- スキャン時に画像に適用される色、コントラスト、シャープネスの補正
- フィルム上の傷、ゴミの軽減、退色などの補正
- スキャナの露出や、使用するスキャナに特有な機能のコントロール

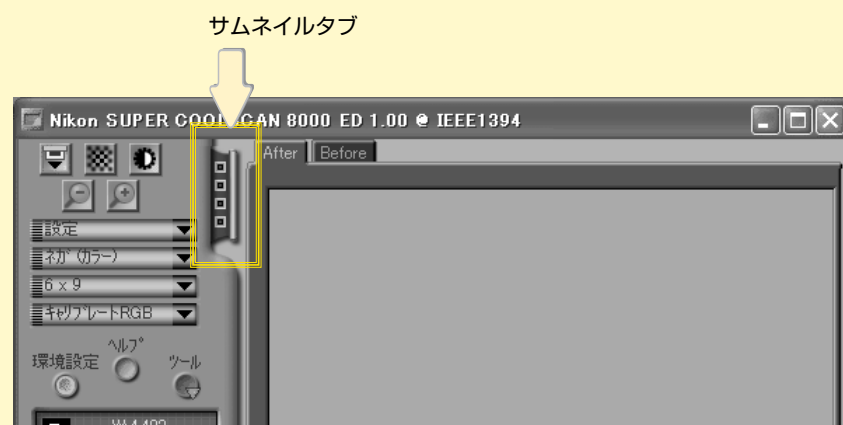
Step 1 フィルムタイプメニューから フィルム原稿の種類を選択する

Nikon Scan のフィルムタイプメニューとメディアタイプメニューから、使用するフィルム原稿の種類を選択します。ここでは、6 × 7 サイズのブローニストリップフィルム（ネガ）を、読み込む場合について説明します。

［ネガ（カラー）］と［6 × 7］サイズのブローニストリップフィルムを選択します。

フィルムタイプメニューから原稿の種類を選ぶ　メディアタイプメニューから原稿の種類を選ぶ

Step 2 サムネイル一覧から 読み込みする画像を選択する -1

サムネイルの一覧から読み込むフィルムのコマを選択します。

サムネイルタブをクリックしてサムネイルエリアを開いてください。

サムネイルタブ

Step 3 サムネイル一覧から 読み込みする画像を選択する -2

サムネイルエリアにはフィルムのコマ番号が表示されます。サムネイル画像作成ボタンをクリックし、全てのコマのサムネイル画像を表示します。（サムネイルエリアを拡大したり、スクロールすると次のコマ番号のサムネイル画像を表示できます。コマ番号表示ボタンをクリックするとコマ番号表示に戻ります。）

サムネイル画像をクリックしてスキャンするコマを選択します。

サムネイル作成ボタン　コマ番号表示ボタン

サムネイルエリア　選択されたサムネイル　サムネイルエリアを拡大できます

Step4へ

Step 4 選択した画像の プレビューを表示させる

［プレビュー］ボタンをクリックしてください。プレビュー画像はスキャンする範囲を決めたり、色合いなどを確認、調整するために使用します。

プレビュー画像が読み込まれるとプレビューエリアに表示されます。

メモ　進行表示について

スキャナが画像を読み込んでいる間は、『進行表示』画面が表示されます。［キャンセル］ボタンをクリックすると、処理を中断します。

Step 5 プレビューした画像に ツールパレットを使用する

［ツール］ボタンをクリックして、ツールメニューから［ツールパレット 1］を選択し、『ツールパレット 1』画面を表示させます。

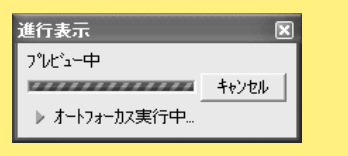
ツールパレットの各種機能を使用すると、読み込む画像の範囲、出力サイズ、解像度などの設定や、さまざまな画像編集・補正を行うことができます。

ツールパレット 1

Step 6 ツールパレットの レイアウトツールを使用する

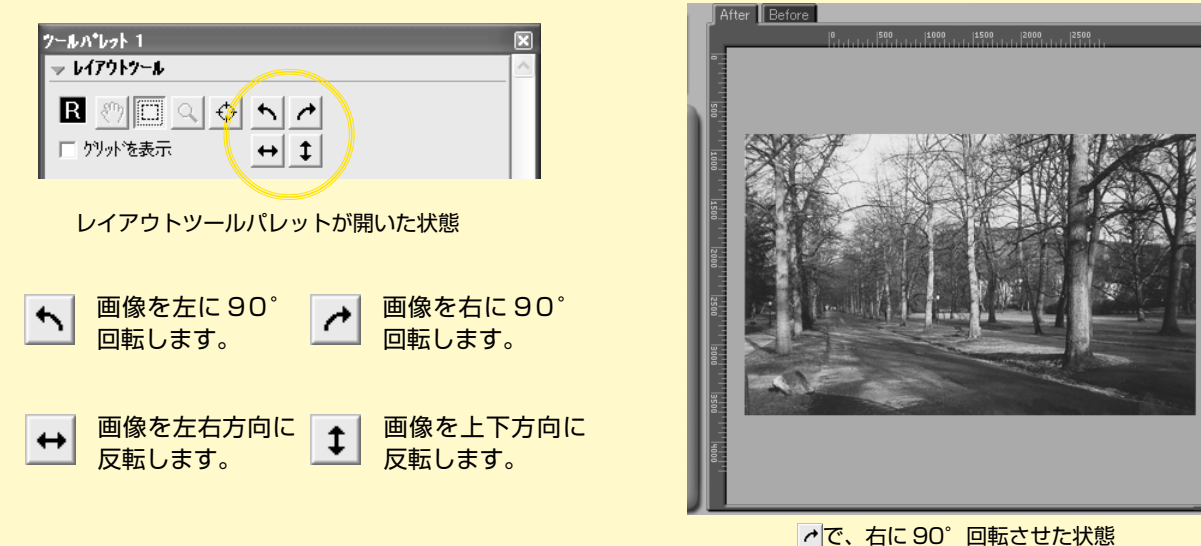
レイアウトツールパレットを開きます。

ツールの左端にあるアイコンをクリックするとそのツールのパレットを開くことができます。

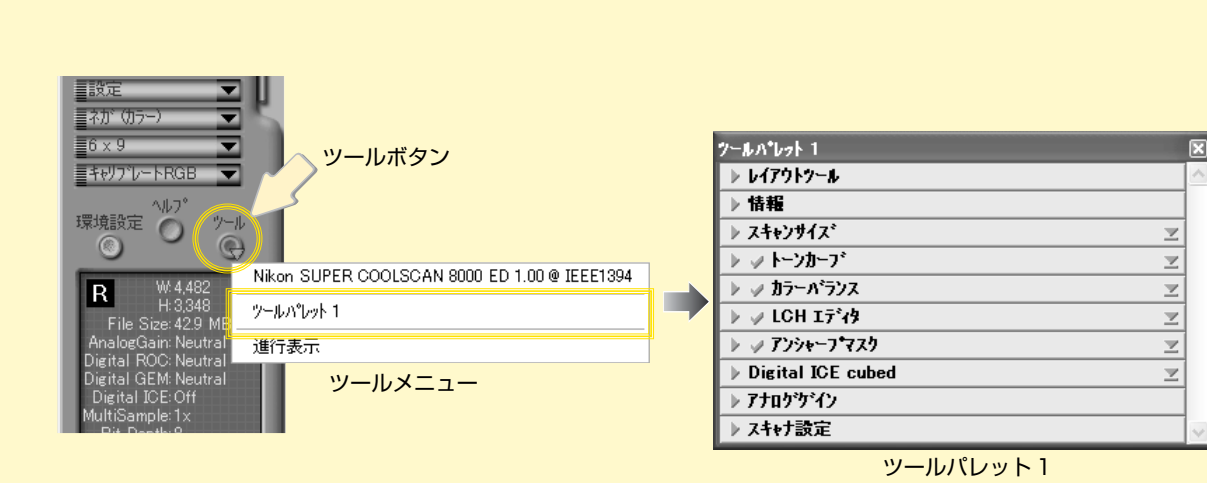
レイアウトツールパレットを開いた状態

Step7へ

Step 7 レイアウトツールを使用して プレビュー画像を回転させる

必要に応じて、プレビュー画像を回転・反転させます。ここではで、右に 90°回転させます。

画像を回転・反転する必要のない場合は、そのまま Step 8 へ進んでください。

レイアウトツールパレットが開いた状態

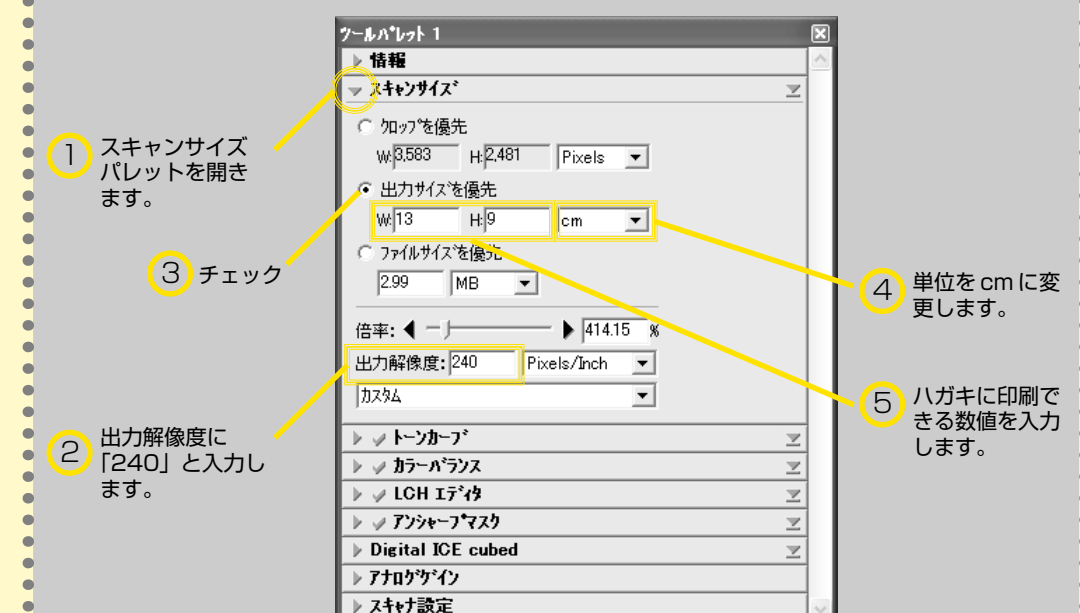
- 画像を左に 90°回転します。
- 画像を右に 90°回転します。
- 画像を左右方向に反転します。
- 画像を上下方向に反転します。

で、右に 90°回転させた状態

Step 8 レイアウトツールを使用して スキャンする画像範囲を選択する

画像の読み込みたい範囲（スキャンする範囲）を選択します。選択カーソル（）を選択し、プレビュー画像上でマウスでドラッグ（マウスボタンを押したままマウスを動かす）して、読み込みたい範囲を点線で囲みます。

（参考）スキャンサイズについて

ツールパレットの［スキャンサイズ］ツールで、読み込む画像の解像度を調整できます。詳しくはソフトウェアマニュアル CD-ROM の 46 ページをご覧ください。

ここではスキャンサイズを一般的なインクジェットプリンタを使用して、ハガキサイズで印刷できる画像を読み込む場合を想定して出力解像度や出力サイズなどの設定を簡単に説明します。

1. スキャンサイズパレットを開きます。
2. 出力解像度に「240」と入力します。
3. チェック
4. 単位を cm に変更します。
5. ハガキに印刷できる数値を入力します。

Step9へ

Step 9 選択した画像を スキャンする

［スキャン］ボタンをクリックします。読み込み動作が始まります。

Step 10 スキャンした画像を 表示する

読み込んだ画像が表示されます。

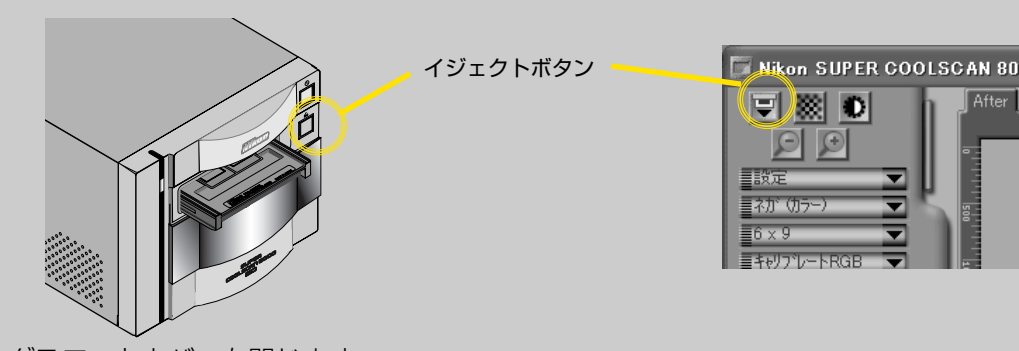
Windows　Macintosh

メモ スキャンウィンドウの背面に、読み込んだ画像が隠れている場合がありますので、そのような場合はスキャンウィンドウを閉じてください。

スキャナ操作を終了する場合

次の順序で Nikon Scan を終了し、スキャナの電源をオフにします。

1. フィルムホルダをスキャナから排出します。
   ホルダをスキャナから取り出すには、スキャナ本体前面にあるイジェクトボタンを押すか、Nikon Scan スキャンウィンドウのイジェクトボタン（）をクリックします。

2. ホルダスロットカバーを閉じます。
3. Nikon Scan の［ファイル］メニューから［終了］を選択します。
4. スキャナの電源を下記の手順にそってオフにします。

スキャナの電源オフの手順

ご使用になる OS により、スキャナの電源をオフにする手順が異なります。

下記の手順通りにスキャナの電源をオフにしてください。

[Mac OS の場合]

表示 LED が点滅していないことを確認して、電源ボタンを押してスキャナの電源をオフにします。

[Windows XP Home Edition / Professional の場合]

表示 LED が点滅していないことを確認して、電源ボタンを押してスキャナの電源をオフにします。

[Windows 2000 Professional の場合]

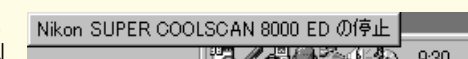
表示 LED が点滅していないことを確認して、電源ボタンを押してスキャナの電源をオフにします。

[Windows Me の場合]

Windows Me を終了（パソコンの電源を切る）してから、表示 LED が点滅していないことを確認して、電源ボタンを押してスキャナの電源をオフにします。

[Windows 98SE の場合]

タスクバーからハードウェア接続・解除ボタンを左クリックし、接続されている機器のリスト中のNikon SUPER COOLSCAN 8000 ED IEEE 1394 SBP2 Device を選択します。［安全なハードウェア取り外しダイアログ］が表示されますので、［OK］ボタンをクリックし、画面の指示にそってスキャナとの交信を中断させます。電源ボタンを押してスキャナの電源をオフにします。

Printed in Japan
S2H00300201 (10)
6MRA0310-02

デバイスの登録（Windows のみ）

スキャナを初めて接続する場合は、スキャナをハードウェアとしてコンピュータに登録するためにドライバをインストールする必要があります。以下にその手順を示します。

重要 ご確認ください。
- コンピュータにスキャナドライバソフトウェアNikon Scan 3がインストールされていること（Step1）。
- スキャナの電源がオフになっていること。
- コンピュータにIEEE 1394 インターフェースが装着されていること。
  ※ ご使用のコンピュータにIEEE 1394インターフェースが装備されていない場合は、スキャナに同梱のIEEE 1394ボードを装着し、認識させてください。装着・認識方法はIEEE 1394ボードの使用説明書をご覧ください。
- スキャナとコンピュータがIEEE1394ケーブルで接続されていること（Step2）。

スキャナをWindows XP Home Edition / Windows XP Professionalに登録する

「コンピュータの管理者」アカウントでログオンして登録を行ってください。

1

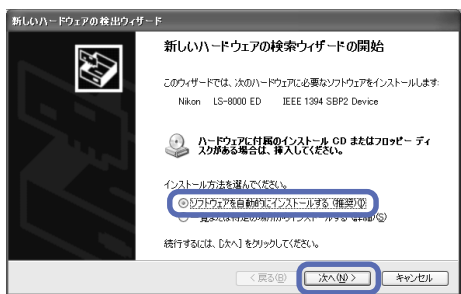
▶ スキャナの電源をオンにします。

新しいハードウェアの検出を知らせるメッセージ［新しいハードウェアの検出ウィザード］が表示されます。

▶ Nikon Scan 3 CDをCD-ROMドライブに挿入します。

自動的に ② の画面が表示されます。

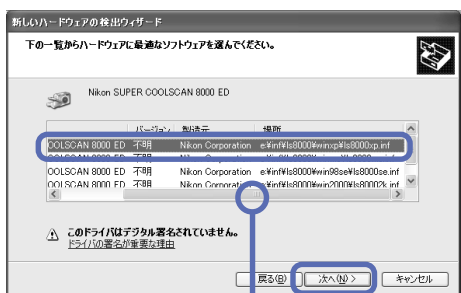
※Nikon Scan ソフトウェアのインストール画面（welcome画面）が自動的に開いた場合は、[Exit]をクリックしてインストール画面を閉じてください。（Nikon Scan 3 CDをCD-ROMドライブに挿入する場合は、左Shiftキーを押しながら挿入すると、インストール画面は開きません。）

※ 自動的に ② の画面が表示されない場合は、［ソフトウェアを自動的にインストールする］を選択して、［次へ］をクリックします。

2

自動検出されたドライバの一覧が表示されます。

▶［場所］欄が［ls8000xp.inf］のドライバを選択します。

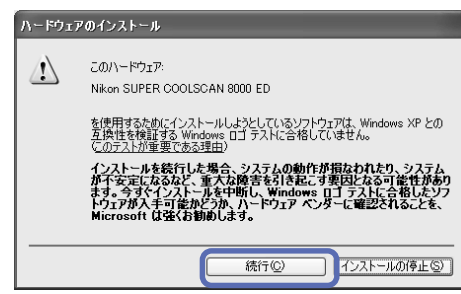
▶［次へ］をクリックします。

※ 上記のファイル（ls8000xp.inf）は、右の画面のようにスクロールバーで移動させてご確認ください。また、ファイル名が似ているので、ファイル名が［ls8000xp.inf］であることをよくご確認ください。

スクロールバー

右側へ

3

▶［続行］をクリックします。

デバイス登録に必要なファイル（複数）のインストールが始まります。

4

スキャナのデバイス登録が終了しました。

▶［完了］をクリックしてください。

クイックスタートガイドのStep3へお進みください。

メモ スキャナがWindows XP Home Edition / Windows XP Professionalに正しく登録されているかどうかを確認する場合は、使用説明書をご覧ください（通常は必要ありません）。

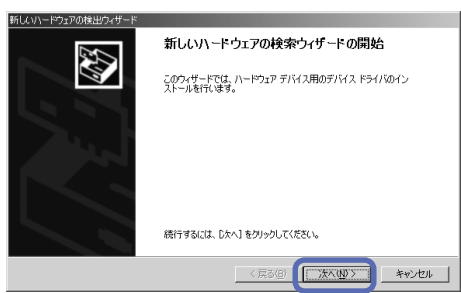
スキャナをWindows 2000 Professionalに登録する

「Administrator」でログオンして登録を行ってください。

1

▶ スキャナの電源をオンにします。

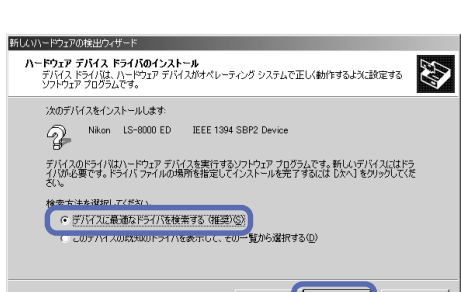
新しいハードウェアの検出を知らせるメッセージ［新しいハードウェアの検索ウィザード］が表示されます。

▶［次へ］をクリックします。

2

右の画面が表示されます。

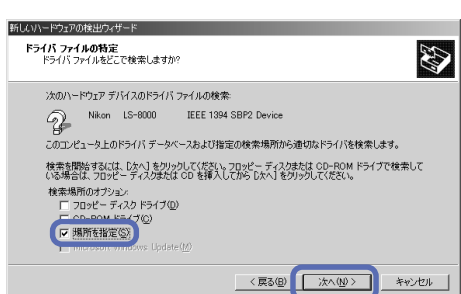
▶ Nikon Scan 3 CDをCD-ROMドライブに挿入します。

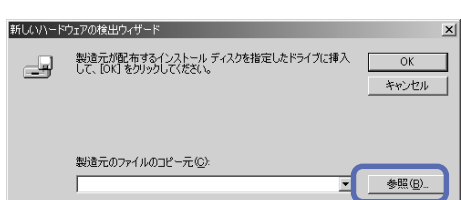
※Nikon Scan ソフトウェアのインストール画面（welcome画面）が自動的に開いた場合は、[Exit]をクリックしてインストール画面を閉じてください。（Nikon Scan 3 CDをCD-ROMドライブに挿入する場合は、左Shiftキーを押しながら挿入すると、インストール画面は開きません。）

▶［デバイスに最適なドライバを検索する］を選択します。

▶［次へ］をクリックします。

3

▶［場所を指定］を選択します。

▶［次へ］をクリックします。

4

▶［参照］をクリックします。

5

［ファイルの場所］画面が表示されます。

▶［ファイルの場所］欄のプルダウンメニューでNikon Scan 3 CDが挿入されているCD-ROMドライブ（NKSCAN3）を選択します。

▶ CD-ROM内の［INF］フォルダを開きます。

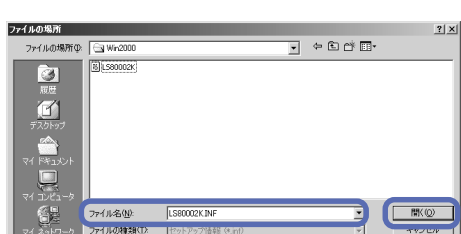
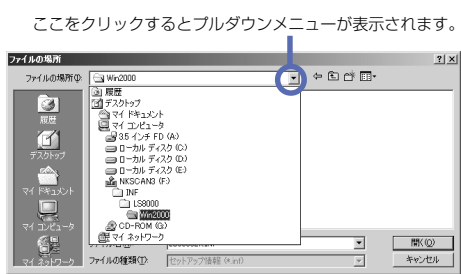
▶［INF］フォルダ内の［LS8000］フォルダを開きます。

▶［LS8000］フォルダ内の［Win2000］フォルダを開きます。

▶［Win2000］フォルダ内の［LS80002K］ファイルを選択します。

ファイル名欄に［LS80002K.INF］と表示されます。

▶［LS80002K.INF］が表示されたら［開く］をクリックします。

ここをクリックするとプルダウンメニューが表示されます。

右側へ

6

▶［製造元のファイルのコピー元(C):］欄に［(CD-ROM ドライブ):¥INF¥LS8000¥Win2000］と表示されていることを確認します。

※ 表示されていない場合は、［参照］をクリックして、もう一度 ⑤ の手順を行ってください。

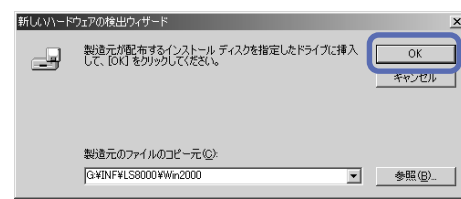
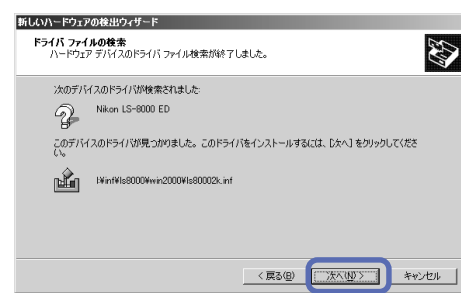
▶［OK］をクリックします。

7

▶［次へ］をクリックします。

8

▶［はい］をクリックします。

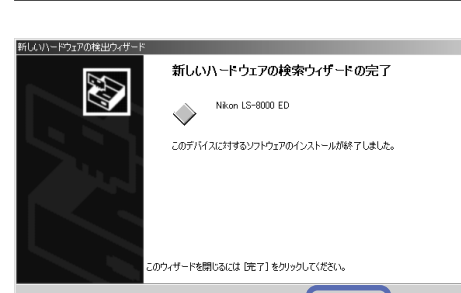
9

スキャナの登録処理中の画面が表示されます。

10

スキャナのデバイス登録が終了しました。

▶［完了］をクリックしてください。

11

▶［はい］をクリックしてコンピュータを再起動します。

クイックスタートガイドのStep3へお進みください。

メモ スキャナがWindows 2000 Professionalに正しく登録されているかどうかを確認する場合は、使用説明書をご覧ください（通常は必要ありません）。

スキャナを Windows Me に登録する

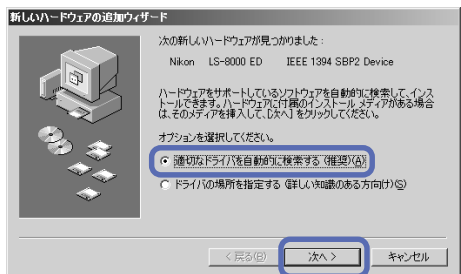
▶ スキャナの電源をオンにします。

新しいハードウェアの検出を知らせるメッセージ［新しいハードウェアの追加ウィザード］が表示されます。

▶ Nikon Scan 3 CDをCD-ROMドライブに挿入します。

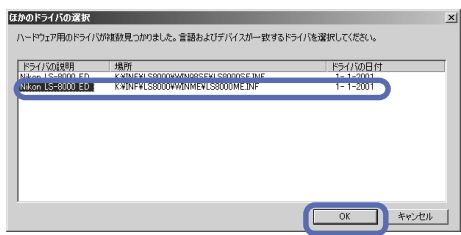
※ Nikon Scan ソフトウェアのインストール画面(welcome画面)が自動的に開いた場合は、[Exit]をクリックしてインストール画面を閉じてください。（Nikon Scan 3 CDをCD-ROMドライブに挿入する場合は、左Shiftキーを押しながら挿入すると、インストール画面は開きません。）

▶［適切なドライバを自動的に検索する］を選択します。

▶［次へ］をクリックします。

自動検出されたドライバの一覧が表示されます。

▶［場所］欄が［LS8000ME.INF］のドライバを選択します。

▶［OK］をクリックします。

※ファイル名が似ているので、ファイル名が［LS8000ME.INF］であることをよく確認してください。

右側へ

▶ 3

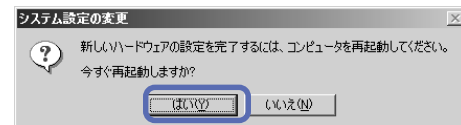
スキャナのデバイス登録が終了しました。

▶［完了］をクリックしてください。

▶ 4

▶［はい］をクリックしてコンピュータを再起動します。

クイックスタートガイドの Step3 へお進みください。

メモ

スキャナがWindows Meに正しく登録されているかどうかを確認する場合は、使用説明書をご覧ください（通常は必要ありません）。

スキャナを Windows 98SE に登録する

スキャナをWindows 98SEで使用する場合はIEEE1394ドライバのアップデートが必要です。スキャナをハードウェアとして登録する前に、IEEE 1394ドライバのアップデートが完了していることを確認してください。また、コンピュータの機種やOSのバージョンによってスキャナをハードウェアとして登録する方法が異なりますので、次の手順をよくお読みください。

Windows 98SE IEEE1394 ドライバのアップデート

▶ Nikon Scan 3 CD-ROM をコンピュータのCD-ROM ドライブに挿入します。

※Nikon Scan ソフトウェアのインストール画面(welcome画面)が自動的に開いた場合は、[Exit] をクリックしてインストール画面を閉じてください。(Nikon Scan 3 CDをCD-ROMドライブに挿入する場合は、左Shiftキーを押しながら挿入すると、インストール画面は開きません。)

▶ デスクトップ画面にある［マイコンピュータ］アイコンを開きます。

▶［Nikon Scan 3 CD］アイコンを右クリックして表示される一覧から［エクスプローラ］を選択します。

▶［Microsoft］ディレクトリを開いて、242975JPN8(.EXE)をダブルクリックします。

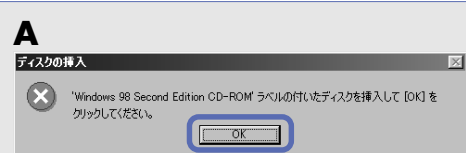
画面の指示にしたがってインストールしてください。

※IEEE1394 ドライバがアップデートされたかどうかの確認方法は使用説明書［Windows 98SE IEEE1394アップデート］をご覧ください。

▶ スキャナの電源をオンにします。

A、B どちらかの画面が表示されます。

※約60秒経過しても画面が表示されない場合は、使用説明書に記載されている［デバイスドライバの更新（Windows 98SEの場合）］をご覧ください。

A

A の画面が表示された場合は、

▶ CD-ROM ドライブを空にしたまま［OK］をクリックします。(CD-ROMドライブにWindows 98SE CD-ROMを挿入しないでください)。

［ディスクの挿入］画面が表示されます。

2A に進んでください。

B

B の画面が表示された場合は、

▶［次へ］をクリックします。

2B に進んでください。

▶［参照］をクリックします。

［開く］画面が表示されます。

▶［開く］画面の［ドライブ］欄で［C:］ドライブを選択します。

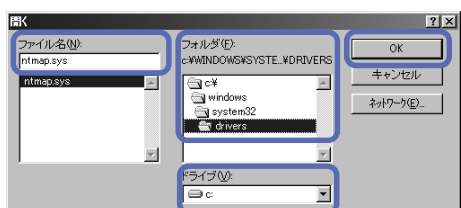
▶［フォルダ］欄で［C:¥windows］フォルダを開きます。

▶［C:¥windows］フォルダ内の［system32］フォルダを開きます。

▶［system32］フォルダ内の［drivers］フォルダを開きます。

［ファイル名］欄に［ntmap.sys］が表示されます。

▶［ntmap.sys］が表示されたら［OK］をクリックします。

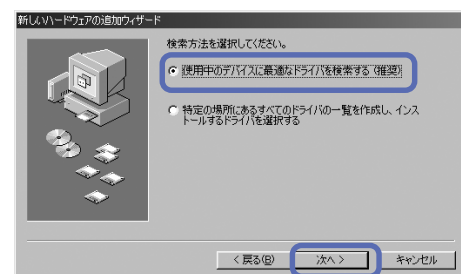
以上で、スキャナのデバイス登録は終了です。

※ 各フォルダはダブルクリック（マウス左ボタン２回押し）で開きます。

※ Windows 98SE がインストールされているドライブを［C:］ドライブとしています。

クイックスタートガイドの Step3 へお進みください。

▶ Nikon Scan 3 CDをCD-ROMドライブに挿入します。

※ Nikon Scan ソフトウェアのインストール画面(welcome画面)が自動的に開いた場合は、[Exit]をクリックしてインストール画面を閉じてください。（Nikon Scan 3 CD をCD-ROM ドライブに挿入する場合は、左Shift キーを押しながら挿入すると、インストール画面は開きません。）

▶［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する］を選択します。

▶［次へ］をクリックします。

▶［検索場所の指定］を選択します。

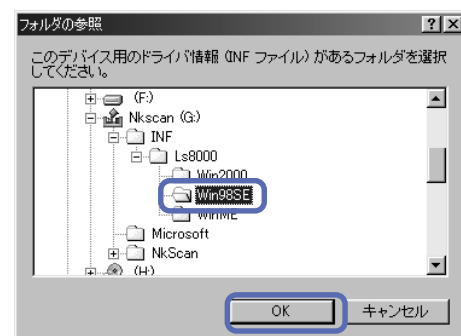
▶［参照］をクリックします。

▶ CD-ROM（Nkscan3）内の［INF］フォルダを開きます。

▶［INF］フォルダ内の［Ls8000］フォルダを開きます。

▶［Ls8000］フォルダ内の［Win98SE］フォルダを選択します。

▶［OK］をクリックします。

※ フォルダを開くには ⊞ をクリックして ⊟ にします。

▶［検索場所の指定］の欄に、［(CD-ROM ドライブ):¥INF¥LS8000¥Win98SE］フォルダが指定されていることを確認します。

※ 表示されていない場合は、［参照］をクリックして、もう一度 4 の手順を行ってください。

▶［次へ］をクリックします。

▶ 6

右の画面が表示されます。

▶［次へ］をクリックします。

スキャナのデバイス登録が終了しました。

▶［完了］をクリックしてください。

※ 再起動を促す画面が表示された場合は、コンピュータを再起動してください。

クイックスタートガイドの Step3 へお進みください。

メモ

スキャナが Windows 98SE に正しく登録されているかどうかを確認する場合は、使用説明書をご覧ください（通常は必要ありません）。